令和8年度

伊沢小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇表現力を高め、自分の考えや学びを継続的にアウトプットできる授業の展開
〇読書活動を中心として読解力を向上させる学習活動の実践

校長　佐藤　正彦

学力向上推進員　山下　真由美

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇習得した基礎・基本的な知識・技能を活用し、与えられた課題にはまじめに取り組む児童が多い。 ●読み書き、計算などの基本的な知識・技能が十分ではない。 ●語彙が少なく、長い文章を正確に読み取ることに課題がある。	①各教科の基礎・基本的な知識・技能をより確実に身につけることができる。 ②語彙を増やし、長い文章を正確に読み取ることができる。	①モジュール学習やドリル学習の時間を有効的に活用し、復習や反復学習を取り入れ、定着を図る。 ②－１読書の日を設けたり、宿題に読書を設定したりするなど、読書に親しむ機会を増やす。 ②－２国語辞典などを積極的に活用する場を増やす。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇自分の考えや思いを表現できる児童が増えてきている。 〇ICTの活用によって表現の方法が広がってきている。 ●語彙が少なく、自分の思いや考えをわかりやすく書くことが苦手な児童が多い。 ●相手の意図を捉えながら聞いたり、自分の考えの根拠を明確にして話したりすることがあまりできていない。 ●読解力が低い。	①目的に応じて、理由や根拠を明らかにしながら、自分の考えを適切に表現することができる。 ②自分の考えと比較しながら相手の話を聞くことができる。 ③文章の要旨を捉えたり、問いの意図を正しく理解したりすることができる。	①課題に対して自分の考えを話したり、書いたりする活動を充実させ、目的に応じてまとめたものを掲示したり発表したりする機会を増やす。 ②ペア活動やグループ活動等で話し合う機会を増やし、話の聞き方のポイントを指導する。 ③読解プリントや徳島県学力向上プリント等に取り組む時間をとる。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇興味があることには意欲的に取り組める児童が多い。 ●学習内容に対して、自分で計画を立てて学習することが苦手な児童が多い。	①自ら進んで文章を読むことに親しむことができる。 ②目的を持ち、計画を立てて自らの課題に取り組むことができる。	①図書室の環境整備や阿波図書館との連携を図り、読書に興味をもてるような仕掛けを行う。 ②積極的に課題に取り組めるような授業展開を工夫し、児童の主体性を引き出す。 ③自主学習の取組を4、5、6年生で工夫する。			